

しずく

No.
120
2022.1

●編集●
広報広聴常任委員会
●発行●
岩手県雫石町議会

議会だよ

●今号の主な内容

特集「14haのこれから」…2

12月定例会…6

町政を問う

一般質問 12議員が質問…10

委員会レポート…20

ふるさとへの便り(86)…23

●今号の表紙／なかよしシリーズ⑮

「わたしたち5きょうだい」…24



特集

14

ヘクタールの
これから

町有地活用の10年 14ha活用プロジェクト

少子高齢化、人口減少が全国的な課題となっている昨今、町では平成23年から総合計画推進モデルプロジェクト共同研究を開始し、その中の一つに町内沼返にある未利用町有地14haの利活用を掲げ事業を進めてきました。

この間、議会は賛否を二分しながら議論を重ねてきました。それらのいままでとこれからをまとめてみました。

■平成29年3月末時点の 七ツ森ヴィレッジ (イメージ図)

① 七ツ森 地域交流センター (仮)

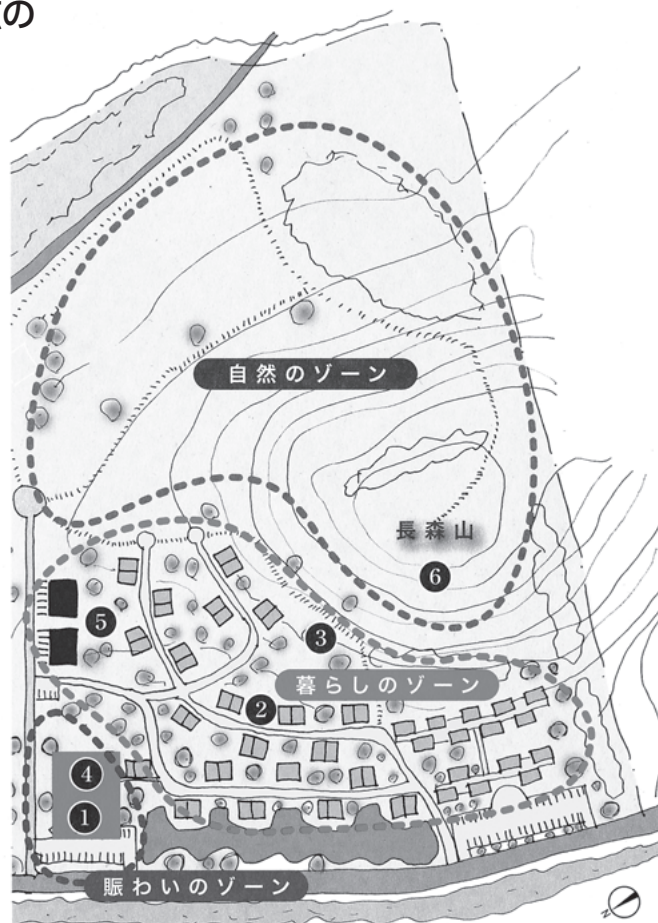
コミュニティ食堂、産直ショップ、お試し居住、移住相談窓口、パブリックスペースを兼ね備えた、誰もが集まれる地域交流拠点。様々な企画が予定されています。

② 七ツ森ハウス (仮) 1 (シニア向け住宅)

ケアのしぐみのある住まいで、自由・健康的・文化的に暮らす、50代からの安心の住まい。参加型による「つくる会」で、暮らしに関わることを一つ一つ丁寧に検討しながらつくっていくのが特徴です。

③ 七ツ森ハウス (仮) 2 (若者向け集合住宅)

創造的な省エネの仕掛けを導入し、住まい手を楽しみ工夫しながら快適に暮らせる若者向け集合住宅を検討中。シェアキッチン・シェア土間・コワーキングスペースなども検討しています。



④ コミュニティ食堂・ カフェ (仮)

産直ショップを併設した、毎日食べても飽きないごはんやお惣菜を提供するコミュニティ食堂。地域市民主体の「食を考える会」と協働し、食と農をテーマに地域コミュニティを盛り上げます。

⑤ 七ツ森 グループホーム (仮)

ヴィレッジ内外で働く障がいのある人のためのグループホーム。ひとりひとりの個性が光る活躍の場を創出し、アートや工芸技術などの才能として開花するための仕組みづくりも行います。

⑥ 七ツ森ガーデン (仮)

長森山を含む敷地全体が共有ガーデン。動植物とのふれあいや自然を楽しむ企画や食と農に関連した取り組みなどを検討していきます。

町の
ねらい

少子高齢化対策と 地方へ新しい人の流れをつくる

これまでの主な経緯

- 平成23年～平成26年 総合計画推進モデルプロジェクト共同研究開始
- 平成27年～令和2年 地方創生の取り組みの一つとして位置づける
- 平成27年
 - 9月 活用実施調査補正予算1億1300万円
 否決（賛成7・反対8）
 - 10月 活用実施調査補正予算再提出
 随契 東京のコンサルタント 6000万円
 可決（賛成8・反対7）
- 平成28年
 - 1月 栗石まちづくり会社設立
 - 6月 新町道用地購入費386万1千円 可決（賛成8・反対7）
 - 9月 新町道工事費補正 7000万円 可決（賛成8・反対7）
- 平成29年
 - 2月 七ツ森地域交流拠点施設整備計画
 可決（賛成7・反対7・議長裁決）
 - 7月 七ツ森地域交流拠点施設整備事業監査請求
 可決（賛成9・反対3・退席2）
 - 9月 監査報告後百条委員会設置案 否決（賛成6・反対8）
 - 12月 七ツ森地域交流拠点施設管理備品購入費補正1651万円
 可決（賛成10・反対4）
- 平成30年
 - 3月 七ツ森地域交流センター設置管理条例
 否決（賛成7・反対7・議長裁決）
 - 6月 七ツ森地域交流センター設置管理条例再提出
 可決（賛成8・反対6）
 - 9月 七ツ森地域交流センター指定管理（栗石まちづくり会社）
 可決（賛成8・反対6）
 - 9月 七ツ森地域交流センター管理運営事業費459万3千円
 可決（賛成9・反対5）

一般質問で50数回に及ぶ熱い議論 紆余曲折を経て、今日に至る

平成26年に地方創生会議（座長：増田寛也元岩手県知事）が発表した、本町も消滅可能性都市に含まれることに危機感を持ち、人口減少対策として生涯活躍のまち・日本版CCRC構想*を進めるべく様々な事業を進めました。

官民で出資して「栗石まちづくり会社」を設立するとともに、民間主体で14ヘクタールに資金を投じる計画で、日本版CCRC構想による関係人口の拡大、雇用の場の創出を目指しスタートしたものです。

【議会でも関連議案を否決】

平成23年以降、議会において様々な議論があり、国の補助をもとにして整備を進めたとしても町民のためになるか不明瞭。業務内容の計画や実施団体の実行性が不透明。協定を

締結した民間会社の撤退など諸問題も発生しました。この間、議会でも事業に係る補正予算が否決されるなど、事業自体の見直しを余儀なくされたものです。

議会としても町の重点事業と捉え、事業の進捗状況^{しんちよく}を注視してきましたが、最終的に計画どおりの実施には至らず、計画は白紙となりました。

今年度、町では事業に対する検証と総括を行うとともに、新たな民間事業者が提案した事業計画を認め、当該事業者と「町有財産を活用した地域活性化に係る包括連携協定」を締結しました。次ページからはその概要を紹介します。

*日本版CCRC構想：「Continuing Care Retirement Community」の略称で、高齢者が健康な段階で入居し、継続的なケアを受けながら終身暮らすことができる生活共同体

町有地のこれから どう活用していく

町にとって真に必要な事業へ

町有地14ヘクタール活用プロジェクト開始から約10年以上を経て、新たな活用方法が示されました。町は再生可能エネルギー事業を手掛ける、エネルギープロダクト株式会社(東京都 丸山一孝代表取締役)と地域活性化に係る包括連携協定を締結。経済性の高い有機農業と、職住一体型による移住者の受け入れ機能を持たせた利用を進めます。

いつ?

- 2021年度より順次設備投資
- 2025年度には全事業立上げ

どこで?

雫石町沼返19-2
(七ツ森・丸谷地行政区)

だれが?

エネルギープロダクト株式会社
東京都
丸山一孝代表取締役

何を?

- 農業
- 宿泊業・貸事務所
- レストラン・カフェ・浴場
- 産直・コンビニ ●電力

何のために?

- 地域活性化と過疎化対策
- 自立分散型地域社会創生
- 防災防疫能力強化

どのように?

- 未利用の町有地・交流センターを徹底活用
- ▼
- プラント技術・再エネ技術・農業技術・水処理技術
- ▼
- 有機野菜農業による6次産業化
- 移住者に職住一体としたコミュニティを提供する(アパート・ホテル)

いくらで?

- 企業の初期投資総額4.4億円
- 売上1.6億円
- 利益0.3億円

インタビュー

今回の特集を組むにあたり、町民の方々から「期待」と「不安」の生の声を改めて聞きました。今後進められる地域活性化事業が町にとって真に必要なものとなり得るよう状況を注視していきます。



ながさわ ゆうたろう
長澤 裕太郎さん(28歳、安庭)

人が来るかなと不安ですが、施設ができることで町に人が集まってくれることを期待します。



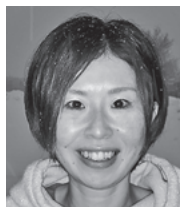
たけだ としお
武田 敏男さん(74歳、陽和郷)

他の市町村と比較して特産物の活用が少なく、産直スーパーやレストランでの提供に期待しています。アクセスしやすい立地条件を活かし、スキー場や小岩井農場と協力して、どの年代にも楽しめるアウトドアイベントができれば良いと思います。



そでばやし ゆうさく
袖林 雄作さん(43歳、中沼)

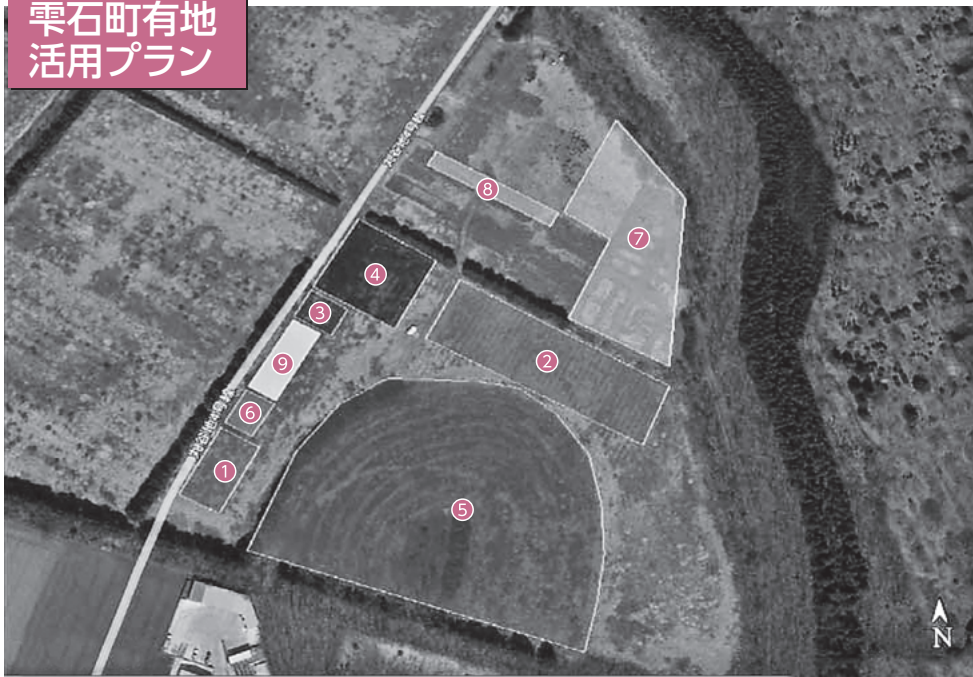
この七ツ森地域交流センターは建設以来ほとんど使われていなかったで、この機会に幅広い年齢層の人たちを呼び込めるイベントや、他県から移住して来てもらえるような施設などを作ってほしいと思います。



たかはし るな
高橋 瑠奈さん(36歳、極楽野)

若手農業人で構成される雫石町農業振興青年クラブ員などのチャレンジ精神が盛りたてられ、雫石を積極的に発信できる場所となり、町が正しい方向に進むことを期待します。

雫石町有地
活用プラン



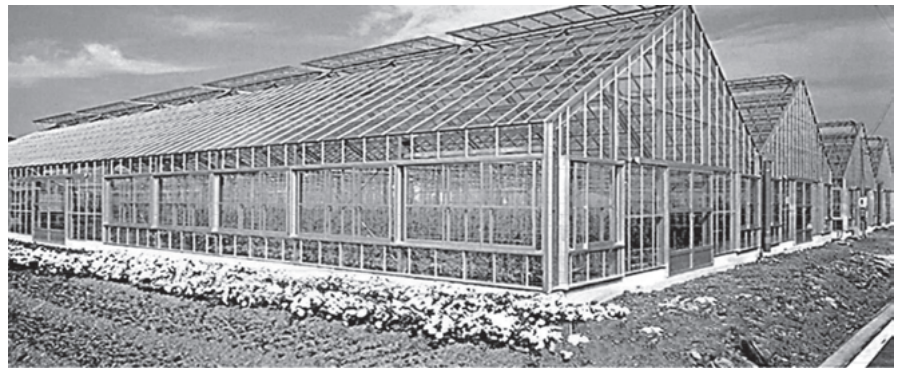
配置計画

- ①② 農業ハウス
- ③ 駐車場
- ④ セツ森地域交流センター
- ⑤ 果樹山
- ⑥ アパート
- ⑦ 500kw 太陽光発電所
- ⑧ 50kw 太陽光発電所
- ⑨ ホテル

施設概要

④ セツ森地域交流センター

- レストランでは雫石牛や南部かしわなどの料理を提供
- 地元企業と連携し、食を活かしたイベントなどで人の交流を促進
- ホテル利用者向けの食事や弁当、惣菜の提供
- 自社農場で生産した野菜や町内産野菜の販売



(イメージ)

①② 農業ハウス

- 農業ハウスではミニトマトなど通年栽培
- 果樹山ではリンゴ、さくらんぼなどを無農薬栽培
- 市場出荷の他、セツ森地域交流センター内のレストランや産直でも販売・提供
- 事業開始段階では町民を中心に農業従事者を雇用。移住意欲のある人材には、住居や職を提供



(イメージ)

⑥ アパート

- 各施設を運営する社員の宿舎
- 移住希望者に移住しやすい環境を提供



(イメージ)

⑨ ホテル

- 出張などのビジネス利用客や周辺レジャー客、冬季のスキー客の利用で人の滞留を図る
- レストランと連携し宿泊客に高品質の食事を提供
- 付帯設備として浴場、コインランドリーを整備

一般会計他6会計補正予算等を可決 栗石町議会議員及び 栗石町議会議議員及び 栗石町長の選挙運動の公営に関する条例、 栗石町議会議議員政治倫理条例を制定

令和3年12月定例会は、12月3日から12月13日までの11日間の会期で行われました。本定例会では、条例の制定及び一部改正5件、補正予算7件、その他3件、同意2件を審議しました。

また、議員発議の栗石町議会議員政治倫理条例の制定を可決しました。

一般質問は、12人が登壇し、町民のために適切な町政運営が行われているか、町当局の考えをいただきました。

栗石町議会議員及び栗石町長の

選挙運動の公営に関する条例を制定

公職選挙法の一部改正に伴い、町議会議員及び町長の選挙の公費負担の要件等を定めました。

選挙公費負担の種別・公費負担上限額等

選挙公費負担の種別	公費負担上限額等
選挙運動用自動車の使用 (一般運送契約・その他契約のいずれか)※1	
一般運送契約 (ハイヤー業者等)	64,500円/日
その他契約 (以下に掲げる区分に応じ、それぞれに定める金額)	
自動車借入契約 (レンタル)	15,800円/日
燃料供給契約	7,560円/日
運転者雇用契約	12,500円/日
選挙運動用ビラ	7円51銭/枚 町長5,000枚、町議1,600枚
選挙運動用ポスター	作成枚数に $525円06銭 \times \text{ポスター掲示場数} + 310,500円$ ポスター掲示場数 を乗じた数 ※2

※1 選挙運動用自動車の使用は、立候補者が指定する1台のみ対象

※2 現在の栗石町内のポスター掲示場数は98箇所

供託金※制度の導入 (公職選挙法による)

☆供託物が没収される立候補者は公費負担が適用されない。

選挙種別	供託金	没収点
町長 (従前より対象)	50万円	有効投票総数÷10
町議会議員 (法改正により対象)	15万円	(有効投票総数÷議員定数)÷10

※供託金：無責任な立候補を防止するため、選挙に立候補する者が、納入しなければならない一定の金額。得票数が一定数ないと没収される。

主な質疑

Q 【横手議員】インバウンド誘客事前調査謝礼は、日本在住のオーストラリア人を招いて、外国人が観光を楽しむ環境整備や情報発信を強化することであるが、町の担当者が同行してアドバイスを受けるのか。

A 【観光商工課長】観光商工課の職員が同行予定で、必要に応じてSNS等の情報発信についても勉強していきたい。

ここが変わる

栗石町水道事業給水条例の一部改正

水道事業の健全な経営基盤を構築するうえで、上下水道経営審議会からの答申により、令和4年4月1日から上下水道料金の値上げ改定（改定率15・5%）を可決しました。

令和3年度一般会計補正予算

○一般会計補正予算(第5号)

補正前の額	補正後予算額 (補正予算額)
106億497万8千円	108億1,819万円 (2億1,321万2千円)

○一般会計補正予算(第6号)

補正前の額	補正後予算額 (補正予算額)
108億1,819万円	109億3,285万5千円 (1億1,466万5千円)

■主な補正予算の内訳

- ・社会福祉政策推進事業(福祉灯油) 751万6千円
- ・インバウンド誘客事前調査謝礼 24万8千円
- ・栗石中学校修学旅行延期費用支援 361万3千円

道の駅栗石あねっこの管理備品購入について議決

- ・道の駅「栗石あねっこ」管理備品(厨房機器一式) 1,144万円
- ・道の駅「栗石あねっこ」管理備品(什器) 1,045万円

新たに制定

栗石町議会議員政治倫理条例を制定

これは栗石町議会議員として守るべき政治倫理の基準を定めたもので、議員は常に役割及び責任を自覚し、行動していかうとするものです。

目的

議員の政治倫理に関し、主権者たる町民の信託に応え、もって公正で民主的な町政の発展に寄与するため、必要な事項を定める。

主な政治倫理基準

- 町民全体の代表者として、人格の向上及び倫理の体現に努め、品位と名誉を損なう行為を慎む
- 町民の信頼を損なうような一切の行為を慎む
- 地位を利用して不正に金品を授受しない

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任

- 仁佐瀬 進氏(63歳)
(再任)に同意しました。
任期 令和3年12月18日
- 築場 弘貴氏(57歳)
任期 令和4年1月13日
〜令和7年1月12日

- 政治的、道義的批判を受けおそれのある寄附を受けない
- 町等が行う工事等に関し、不正又は不当な働きかけをしない
- 町の職員の採用、昇任その他人事に関して不当に関与しない
- 誹謗中傷、強制、ハラスメントその他人権侵害のおそれのある行為をしない

令和3年第9回雫石町議会 12月定例会 | 議決結果等一覧 会期：12月3日(金)～12月13日(月)

議案等番号	件名	議員名													議決結果	
		金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	杉澤敏明	西田征洋	大村昭東	坂下栄一		上野三四二
議案第5号	雫石町水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第6号	令和3年度雫石町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第7号	令和3年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第8号	令和3年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
(追加)議案第15号	令和3年度雫石町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…退席 ※加藤議長は採決には加わりません。その他の議案、同意については全議員が賛成しました。

○一般会計補正予算(第4号)

補正前の額	補正後予算額 (補正予算額)
105億4,479万3千円	106億497万8千円 (6,018万5千円)

Q 【古館議員】令和3年度JA米の概算金は4400円。2年度は5700円であったので1300円の大幅な下落となった。この米価下落は町だけの問題ではなく、県、国の問題でもある。JA、県の支援の動向はどうか。

A 【農林課長】JAは出荷した分についての支援をする方針を決定した。県や国については、直接的に下落分への支援はないが、国の米政策において、米価を維持するために転作を推奨している。主食用米の面積を毎年減らして支援の厚い飼料用米を増やすなどコントロールしている。

Q 【杉澤議員】コロナ対策の地方創生臨時交付金、今回の補正金額は1656万9千円であったが、令和3年度のこれまでの交付額はいくらか。

A 【政策推進課長】8月に補正金額1億2002万8千円を計上し、今回の補正金額を含め交付金額の合計は1億3659万7千円となる。

主な質疑
第8回臨時会

令和3年第8回臨時会が11月12日開かれ、令和3年度一般会計補正予算(第4号)3回目のワフチン接種や地域産業経済支援6018万5千円の追加予算を可決しました。

令和3年第8回臨時会
11月12日

○令和3年産主要品種概算金一覧(JA米単価) (30kgあたり)

銘柄	等級	JA新いわて			参考:支払概算金	
		概算金	概算控除額	支払概算金	2年産	元年産
あきたこまち	1等	4,750	350	4,400	5,700	6,150
	2等	4,250	350	3,900	5,200	5,650
	3等	3,750	350	3,400	4,700	5,150
銀河のしずく (タンパク基準値7.3以内)	1等	5,250	350	4,900	6,050	6,650

注1 概算金には消費税を含む。



将来的に心配な米政策

令和3年第8回雫石町議会臨時会 | 議決結果等一覧 会期：11月12日(金)

議案等番号	件名	議員名													議決結果	
		金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	杉澤敏明	西田征洋	大村昭東	坂下栄一		上野三四二
議案第1号	令和3年度雫石町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…退席 ※加藤議長は採決には加わりません。

令和3年第10回臨時会が12月21日開かれ、雫石町消防団第5分団第5部屯所建築工事の変更契約の締結に係る専決処分報告、令和3年度一般会計補正予算(第7号)子育て世帯への臨時特別支援事業1億253万5千円の追加予算を可決しました。

主な質疑

第10回臨時会

Q 【西田議員】子育て世帯への臨時特別給付金の給付基準日の9月30日以降に離婚した場合、子どもと同居している保護者が給付金を受け取ることができない場合に、町はどう対応するのか。

A 【子ども子育て支援室長】児童手当の制度を活用して給付を行うもので、基準日以降に口座変更の手続きをされた方については、次の児童手当の給付分から変更した口座へ振り込むこととなる。

子育て世帯への臨時特別給付金とは

国では昨年11月、18歳未満の子どもたちに「1人当たり10万円を迅速に支給することを決定しました。一定の所得制限が付されているものの、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ子育て世帯に対し給付金を支給するものです。

当初は国の方針に基づき現金5万円、さらにクーポン券で5万円、合わせて10万円分の給付という内容でした。しかし

ながら全国自治体の事務経費がかかりすぎることもあり、「地域の実情に応じて自治体判断で現金一括給付をすることも可能」とする方向性が示され、町ではより早く対象者の方々に支給するために現金で10万円一括支給することとしました。



新たな防災拠点となる第5分団第5部屯所(小松)



将来を担う子どもたちは町の宝

令和3年第10回雫石町議会臨時会 | 議決結果等一覧 会期：12月21日(火)

議案等番号	議案名	議員名													議決結果		
		金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	杉澤敏明	西田征洋	大村昭東	坂下栄一		上野三四一	
議案第1号	令和3年度雫石町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…退席 ※加藤議長は採決には加わりません。

議会報告会を開催します

議会活動の状況等を町民の皆さんに直接報告するとともに、議会活動への意見や提言をいただくことを目的に「議会報告会」を開催します。

とき 2月12日(土) 13時30分~15時
(13時から受付開始)

ところ 雫石町中央公民館 2階 大会議室

対象者 町民及び町内に勤務する人

※新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底して開催しますが、密接・密集を回避するため人数制限をする場合があります。○感染状況によって中止する場合があります。詳しくは町ホームページをご確認ください。

ここが聞きたい 一般質問 町政を問う 12議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

12 ページ 埋設ダイオキシンの撤去は

質問者／にしだまさひろ 議員



12 ページ 水田多角的利用技術の革新による農山村の政策の構築は

質問者／おおむらしょうどう 議員



12 ページ 新型コロナワクチン接種証明書の活用を

質問者／かねこかずお 議員



14 ページ 鳥獣、特にイノシシ対策の強化を

質問者／うわのみよじ 議員



14 ページ まちなかへの居住誘導の方法は

質問者／すぎさわとしあき 議員



議会の招集と会期

※町議会の会議には、**定例会**と**臨時会**があります。

定例会は、町民の皆さんの生活に深いかかわりのある町政の方針や予算、条例などを審議します。

臨時会は、必要があるときに開かれます。

会議は、町長が招集することとなっています。

1 定例会

定例会は、年4回（原則、3月、6月、9月、12月）開かれます。

また、議長を除く15人の議員により3月定例会で予算特別委員会、9月定例会では決算特別委員会を設置し、予算・決算の審議をします。

会期は、招集日の会議で決められます。

令和3年の定例会は次のとおりでした。

第2回 令和3年2月25日～3月17日（予算特別委員会）

第3回 令和3年6月4日～6月15日

第6回 令和3年9月1日～9月17日（決算特別委員会）

第9回 令和3年12月3日～12月13日

特集

教えて、
議会のこと!

No.2

議会の招集と会期



14 ページ 県独自の緊急事態宣言、町の評価は

質問者 / 古館謙護 議員



16 ページ 少子化に歯止めをかける方策を

質問者 / 徳田幸男 議員



16 ページ ヤングケアラーの実態調査結果は

質問者 / 幅 秀哉 議員



16 ページ 合宿誘致の取り組み状況は

質問者 / 横手寿明 議員



18 ページ メタボ、7年連続 県内ワースト1位の対策は

質問者 / 坂井尚樹 議員



18 ページ 米価下落による米農家への支援は

質問者 / 岡本忠美 議員



18 ページ 米価下落の町経済への影響は

質問者 / 堂前義信 議員



2 臨時会

令和3年の臨時会は次のとおりでした。

- | | | |
|------|------------|---|
| 第1回 | 令和3年2月3日 | 令和2年度雫石町一般会計補正予算 |
| 第4回 | 令和3年7月20日 | 町道雫石環状線新用ノ沢橋梁補修工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて等 |
| 第5回 | 令和3年8月6日 | 令和3年度雫石町一般会計補正予算 |
| 第7回 | 令和3年9月30日 | 議長辞職の件等 |
| 第8回 | 令和3年11月12日 | 令和3年度雫石町一般会計補正予算 |
| 第10回 | 令和3年12月21日 | 令和3年度雫石町一般会計補正予算等 |



町として他と比べ、より特色ある子育て改善(目玉施策)がほしい。

質問者／西田征洋 議員
にしだまきひろ



埋設ダイオキシンの撤去は

町長 早急に問題解決を要望

Q 旧営林署による町内国有林に埋めたダイオキシンを含む除草剤の撤去をどう実現するのか。

A 東北森林管理局に撤去責任があることから、完全撤去の実施を継続要望していく。

子育て世代への待遇改善を

Q 子どもへの国民健康保険税均等割課税の免除や、小中学校給食費の保護者負担分を全額補助など、子育て世代の待遇改善

補助金や委託料、児童館等指定管理施設のガバナンス、公金取り扱い指導監督強化せよ。

質問者／大村昭東 議員
おおむらしやうとう



水田多角的利用技術の革新による農山村の政策の構築は

町長 田畑の輪作促進、就農者支援などで農山村社会を構築

Q 米価下落などで、離農を招く恐れがある。農山村の持続可能性を展望し、水田の多角的利用技術の革新により生産性を向上し、小規模農家などの支援強化が必要である。今後どのような農業、農山村政策を構築するのか。

A 土地利用型作物で水田、畑作の輪作を促進する。ほ場大区画化、スマート農業導入、就農者支援などで持続的な農山村社会を構築する。

農家の収入を上げる力になりたい。町としての取り組みは。

質問者／金子一男 議員
かねいっさくお



新型コロナウイルスワクチン接種証明書の活用を

町長 特典やサービス等は考えていない

Q 新型コロナウイルスワクチン接種証明書の活用を町はどう検討しているか。

A 予防接種済証については、町内でも病院や施設等での入所者への面会時に利用されている。また、イベントの特典やサービス等に利用している地域もあるが、町では現在考えていない。

農業振興は

Q 農地大区画ほ場整備の進捗状況と令和4年度に向けた取り組みは。

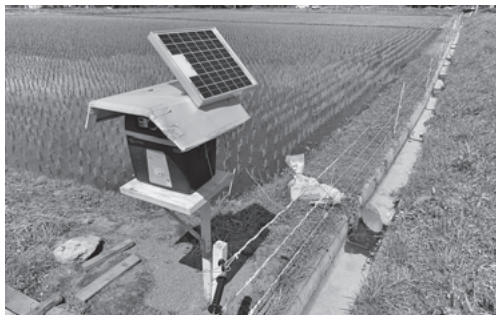
を図ってはどうか。

A 国民健康保険税に係る子どもの均等割免除の在り方は他の保険制度との整合性を図りつつ、国の制度とし確立されていることから、町独自に軽減措置を設ける考えはない。また、給食費の全額補助については、現在の半額補助で町の学校給食に係る負担額は約1億400万円と相当な経費負担となっていることから、町が全額補助する考えは今のところない。

電気柵設置補助の拡充を

Q 有害鳥獣対策の電気柵設置補助について、1世帯1回に限らず、設置を希望する方に継続補助しては。

A 平成27年からこれまでの補助申請件数は146件となっており町内の農家数の13%程度となっている。イノシシの被害は現在、御明神地区、西山地区に拡大していることから当面は新規の申請に限定し、広く町内に普及、定着させていきたい。



新規導入農家に支援している電気柵

補助金、委託料の person 費の指導監督強化は

Q 補助金、委託料の person 費について、法人、組織団体の指導監督強化をどのように考えているか。

A 補助金の交付要領で活動内容や目的を再点検しながら進めている。person 費積算は根拠を示す指示をしている。

学びを通して生きがいを感じるまちづくりの事業実施は

Q 第3次栗石町総合計画政策大綱の「現のための具体的事務事業の実施は。」

A 教員の授業力向上、豊かな心の育成、不登校、いじめ防止対策、健全な食生活の実施、保健指導の充実、基礎体力の向上、地域との協働による学校づくりを実施していく。



地域と協働で豊かな心を育む学校づくり

整備事業を進

める上で担い手の状況や課題対策を行い、令和3年8月末に県に対し合意形成事業の予算要望を行った。

営農ビジョン策定に向け農地の集積、集約化、ほ場整備、スマート農業、IT技術の導入、高収益作物の生産による高付加価値化の推進などに対して支援していく。

主食用米生産農家が飼料用米等の生産へ切り替える際、新たな支援はあるか。

A 飼料用米は主食用米と同等の技術や機械設備で生産が可能であり、経費負担がなく最も取り組みやすい転作物物であることから支援は不要である。



地区民との協議が始まっている大区画ほ場整備

連年米価下落、これじゃ農業やっていけないよ。再生産意欲もてる町の支援ほしい。

質問者／上野三四一議員



鳥獣、特にイノシシ 対策の強化を

町長 「防御」と「捕獲」の取り組みを柱として被害の減少と捕獲を強化

Q 鳥獣と共生する環境を提唱する町民がいることは確かである。しかし、イノシシなどによる農作物被害は甚大であり、人命危機も発生していることから、駆除を強化徹底できないか。

A 「防御」と「捕獲」により、イノシシの被害対策は効果を上げている。より



仕掛けワナで捕獲されたイノシシ

町商店街のため、しずくちゃんカードへの支援をしてもらいたい。

質問者／杉澤敏明議員



まちなかへの居住誘導の方法は

町長 現時点では具体化した施策はないが届出の制度化を検討

Q 生活基盤の整ったまちなかへ誘導や住宅の提供は。

A 現時点で具体化した施策はないが、開発及び建築行為が居住誘導を妨げないか把握するため、届出の制度化を検討する。

Q 生活サービス施設が集約された生活中心拠点形成の具体的な方法は。

A 各種施設の整備を把握するため、届出の制度化を検討し、問題や支障が生じると判断した場合は、都市機能誘導区域内の土地の取得について調整を行う。開発行為自

ワクチンの3回接種で、感染拡大[第6波]を最小に！コロナを乗り越えましょう！！

質問者／古館謙護議員



県独自の緊急事態宣言、町の評価は

町長 感染拡大を抑制できた

Q 8月12日から9月16日まで発令した岩手県独自の緊急事態宣言を受け、町では社会教育施設・体育施設の利用規制を実施し、地域では催事を縮小して開催するなど、取り組んだが町の評価は。

A 宣言には県民に対し感染対策の再徹底と不要不急の外出の抑制など、わかりやすく働きかける効果があり、他の都道府県と比較しても感染拡大を抑制できたと評価している。

効果の大きい地域ぐるみの被害対策の取り組みを拡大させていくための指導・支援を行い農作物被害の減少とイノシシなどの捕獲強化の徹底をする。

米価下落による農業支援を

Q 新型コロナウイルス感染症の影響で、新米価格は下落し、農家の方々から「何とか助けてくれ」という切実な声があるが、どのように考えているか。

A 新型コロナウイルス感染症に係る交付金がまだ示されていないが、その交付金があつた場合には、農家等から意見を聞いて、何らかの形で支援策を考えたい。

感染対策と地域経済の落ち込みへの支援は

Q 新型コロナウイルス感染症の第6波に向けて、感染対策と地域経済への落ち込み支援をどのように進めるか。

A 国は、「医療提供体制の強化」等4つの取り組みを進めている。国の対策を踏まえ、追加接種を進めるとともに、広報等で注意喚起を行う。

また、国から示された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に盛り込まれている施策を活用した支援を迅速に行う。

体を中止するよう調整及び勧告を行うなどの措置を検討する。



この風景を100年残すために

地方創生臨時交付金の活用は

Q 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した経済対策は。

A これまで感染予防対策のほか、観光業・飲食業に対する地域経済活動支援、農林畜産業に対する事業継続支援等を予算計上してきた。

追加交付される交付金についても、地域経済活動を支える分野ごとの対策を検討する。

Q ワクチン3回目の接種に対し、町の医療体制は充分確保されているか。

A 随時、町内医療機関の医師の意見を聞き、各医療機関が接種しやすい環境に配慮し進めていく。

防災マップの修正を

Q 令和3年5月に災害対策基本法が改正されたが、全戸配布した町の防災マップは改正前の内容のため、修正が必要ではないか。

A 令和3年12月中旬頃に火山活動における噴火警戒レベルの避難情報について変更となる情報があることから、発表を待つて防災マップ等の避難情報の修正に取り組む。



全戸配布された防災マップ

当町の年間出生数59人は危険水域です。大きな支援が必要です。

質問者／徳田幸男 議員



少子化に歯止めをかける方策を

町長 出産祝金等の見直しを行い、経済的な支援の検討充実を図る

出生数の減少に危機感はないか

Q 町の人口は10年で2,140人の減少で、出生数が59人という現状に危機感を感じていないか。

A 大きな危機感を感じている。来年度予算に子育て支援として、第1子10万円、第2子10万円、第3子10万円、第4子以降も10万円の支援を考えている。また、来年度民間と提携した中で結婚支援策に着手したいと考えている。

幼老介護、老老介護
ダブル介護、認知介護
在宅介護、介護難民
長寿と背中合わせです。

質問者／幅秀哉 議員



ヤングケアラーの実態調査結果は

町長 該当する児童・生徒はいない

Q ヤングケアラー（家族の世話・介護をする18才未満の子ども）についての実態調査は。

A ヤングケアラーの調査は、各市町村の要保護児童対策地域協議会に対するアンケート等で行うが、該当する児童・生徒はいない。

Q 今後の調査及び対策は。

A 現在はヤングケアラーに関する町独自の実態調査は予定していない。早期に発

少子化で各スポーツ少年団の団員不足が深刻な悩みになって来ます。

質問者／横手寿明 議員



合宿誘致の取り組み状況は

町長 財政支援等を検討し誘致活動を実施する

Q 新型コロナウイルス感染症終息後に向けたスポーツ合宿誘致の取り組み状況は。

A 「いわて合宿相談会」に、しずくいし観光協会と参加し誘致活動を展開している。今後も相談会には積極的に参加し合宿誘致につなげたい。これまでと違った誘致活動は、感染症のリスク回避としてオンラインでの誘致活動が選択肢として増えているが、相談会における対面でのつながりも重要なものと捉えており、町職員の出身大学、高校へのアプローチや、財政支援等を検討しながら状

栗石町結婚新生活支援事業の年齢制限の緩和を

Q 栗石町結婚新生活支援事業の年齢制限は夫婦ともに婚姻日の年齢が39歳以下の世帯としている。男性が45歳、女性が35歳では支援を受けられない。結婚支援、少子化対策として効果を上げるためにも独自で見直しを図ってはどうか。

A 補助要綱に合わせた形での対応となる。年齢を上げる場合は町が単独で実施するかたちになる。今後検討していく。

新入学児童の減少対策は

Q 児童数減少に歯止めをかける方策を、教育委員会で独自で考えていることはあるか。

A 子育ての支援環境充実をPRしての定住が、もつとも身近な施策と考えている。町の人口減少対策と併せて、効果的な対応を検討していく。

昨今の出生数を踏まえた将来見通し（資料提供 町教育委員会）
・令和3年4月1日現在の住民基本台帳数値から算出した令和4年度以降の入学予定者数

入学年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
栗石小学校	54 (276)	45 (273)	43 (273)	35 (274)	29 (259)	27 (233)
七ツ森小学校	16 (75)	12 (71)	16 (75)	13 (74)	15 (82)	6 (78)
西山小学校	16 (138)	22 (132)	14 (126)	18 (114)	14 (107)	9 (93)
御明神小学校	7 (71)	12 (67)	9 (61)	8 (59)	8 (58)	9 (53)
御所小学校	12 (96)	18 (100)	14 (97)	8 (87)	7 (76)	6 (65)
計	105 (636)	109 (643)	96 (632)	82 (608)	73 (582)	57 (522)

※カッコ内は各小学校の全児童見込数



元気に育ってほしい栗石っこ

見ることが重要であることから、社会的認知度の向上や福祉・教育分野等の理解が促進されるよう周知・啓発や研修の機会をつくる。

Q 中学校生徒、小学校児童の不登校の実数の推移は。

A 町内小学校は減少しているが中学校においては増加している。全国、県内、盛岡教育事務所管内8市町いずれにおいても年々増加傾向にあるので、生徒指導を重点課題として取り組んでいる。

況に応じた誘致活動を実施する。

旧南畑小学校体育館に新しい名称を

Q 鶯宿温泉スポーツエリア整備計画が立ち上がったから数年経っているが、いまだに旧南畑小学校体育館と呼ばれている。地域に合った名称をつけてアピールしていく必要があると思うがどうか。



どのような名称となるのか旧南畑小学校

A 施設として整備していく過程で条例等も整備しなければならぬが、その前には名称という部分も明記したいと考えている。

ひとり親家庭に独自支援を

Q ひとり親家庭では、小学校、中学校、高校と部活動に伴う道具等の購入に大きなお金がかかり、その負担に子どもが気を利かせてクラブ活動を諦めるということがないよう、町独自で支援する考えはないか。

A 実状を踏まえながら、子育てに優しい町として何ができるか、事業化に向けて意見を出し合っただけ対応していきたい。

7年連続
メタボースト1
病気になる前に
対策を。

質問者／坂井尚樹 議員



メタボ、7年連続県内
ワースト1位の対策は

町長 特定保健指導を行っ
ている

Q メタボリックシンドローム対策、成果
が上がらない理由は。

A 特定健診
を受診し

た人が、動機づけ
支援及び積極
的支援の基準該
当となっても、
その後の特定保
健指導を受ける
人が少ない。



メタボースト1を脱却できるか

農業に取り組める
施策が必要だ。
稲作はもう限界に
きている。

質問者／岡本忠美 議員



米価下落による米農
家への支援は

町長 緊急支援給付金を
年内に給付

Q 令和3年産米の米価下落は農家経営に
大打撃を与えている。米農家に支援が
必要と思うが対策は。

A 主食用米生産者緊急支援給付金の年内給
付に向けて手続きを進めている。また、
JAの稲作経営安定資金を実質、無利子で借り
受けできるよう、町が利子補給する。

Q 農畜産物の安定生産に町としてどう指
導支援していくのか。

A 全国的に主食用米の需要が減少し、飼料
用米などの新規需要米や小麦、大豆、野

米価下落に資材高騰、
農家経営安定のため、
今一層の支援が必要で
ある。

質問者／堂前義信 議員



米価下落の町経済
への影響は

町長 農家経営のみならず、様々な分
野で多大な影響を及ぼすと捉えている

Q 令和3年産米価が大幅に下落したが、
米価下落が町の経済にどのような影響
を与えると認識しているか。

A 昨年度からの減少額はJA支払概算金の
試算で4億4487万円となる。農家経
営のみならず、コロナ禍で苦境の観光業、商工
業をはじめとした様々な分野で多大な影響を及
ぼすと捉えている。

Q 国保加入者の特定健診の受診率は。

A 平成27年度の51・4%を最高に、令和2年度はコロナ禍の影響もあり、45・2%の受診率にとどまっている。

マイナンバーカードの活用は

Q 保険証として町内利用できる医療機関はあるか。

A 医科施設2件、薬局1件の計3件が登録となっている。栗石診療所は含まれていないが、できるだけ早急に登録となるよう手続きを進める。

奨学資金貸付事業の内容は

Q 奨学資金貸付事業の資格、支援等の内容は。

A 町内に住所を有し、経済的な理由により就学が困難な状況にある高等学校以上の学校に在学する者を対象に、高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学、大学院の学校区分に応じて貸付けをしている。

菜、花卉等の高収益作物への転作の推進と生産体制の支援が重要と考えている。国や県の事業を活用しながら農家の経営安定につながるよう支援していく。

移住定住の取り組みは

Q 移住定住の促進のため、地域に雇用の支えとなる中小企業の誘致が必要では。

A 町の企業誘致に伴う優遇措置の制度を活用した工場等の誘致を進めていくことで、町民の雇用の創出につながると考える。また、サテライトオフィス*の立地により移住定住の増加につなげていきたい。

*サテライトオフィスとは、企業本社や官公庁、団体の本庁舎から離れた所に設置されたオフィスのこと。



町内に工場を構えた誘致企業

地域づくりの取り組みは

Q 地域づくりの取り組みの経過と4地区の共通課題は。

A 地域の現状や今後の姿を捉え、人口減少や少子高齢化に負けない地域づくりの取り組みの意識共有と実践活動へ参加の広がりが必要と捉えている。

観光のアフターコロナは

Q アフターコロナにおける旅行者ニーズの変化、受け入れ環境整備をどう捉えているか。

A 自然に恵まれた景勝地への訪問、家族単位を基本とした近場へ旅行を求める傾向にある。アフターコロナ観光調査事業委託の取り組みをし、アウトドア観光集客のための戦略を絞り込む。

Q DMO設立の取り組みに向けての現状と課題は。

A 設立支援を民間業者に委託し連携しながら進めている。しずくいし観光DMO設立準備委員会を立ち上げ、DMOの役割や体制、各種事業展開の自主財源確保などが課題である。

観光地域づくり法人 (DMO)
地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う能取役となる法人
DMO : Destination Management/Marketing Organization

総務産業常任委員会

[大村昭東委員長]

調査
1

町の活性化と健康増進 大野パークゴルフ場の運営状況調査 及び視察(洋野町)

10月28日、合併前大野村の活性化を図るために産業・観光の拠点として「おおのキャンパス」が約20年の期間をかけ整備されていました。平成8年にオープンした大野パークゴルフ場は町民のスポーツ、レクリエーション活動を通じて健康増進に寄与しています。また運営状況は、施設管理の経費が非常にかかっていると説明を受けました。



健康増進に一役買っているおおのキャンパス

調査
2

町の特産品 農産物生産状況調査及び視察 (極楽野わさび苑)

11月30日、現在わさび根中心に約33,000株(4種類)栽培しているが出荷先は「道の駅雫石あねっこ」での販売を主にしています。需要が伸びていないことから、今後消費拡大対策が必要です。

調査
3

米価下落と若い後継者不足が課題 米価下落影響調査及び 意見交換会(七区)

11月30日、米価下落調査についてユニティファーム七区役員との意見交換会をし、令和3年産米の出荷販売について非常に厳しい状況と説明を受けました。要因は米消費の低迷と燃料・農業資材等の高騰によるものです。また、従業員の高齢化に伴い労働力の低下、水田基盤の整備が課題です。

調査
4

「雫石米」今後の消費対策 コメ余り状況調査及び JA駒木野倉庫見学(駒木野)

11月30日、JAいわて駒木野倉庫で米保管(在庫調査)状況についてJA新しいわてより説明を受けました。令和元年産と2年産の米も在庫があり、雫石産米の販売対策が急務です。



みんなで食べよう雫石米

教育民生常任委員会

[堂前義信委員長]

調査
1

教育費の補正予算 各種イベントの 中止による減額

生涯学習スポーツ課より、一般会計補正予算(第5号)に係る教育費の補正内容についての説明を受けました。主なものとして、総合芸術祭、無形文化財芸能祭、町民劇場、社会体育事業等の事業中止による減額補正でした。また、旧南畑小学校の地下油タンクに定期点検の際、修繕箇所が見つかり、修繕費179万6千円の補正予算計上をするものでした。委員からは地下の油タンクでは点検が難しいこともあり、将来を見据え屋外タンクを考慮しなかったのかとの指摘があり、担当課では屋外タンクの設置も検討したが修繕費以上に高額になることから、今後検討していくと説明を受けました。

調査
2

学校での重大事件の防止策 他県の中学校で発生した 事件を受けて

昨年11月24日に愛知県の中学校で発生した重大事件を受け、学校教育課から町の対応について説明を受けました。12月1日に開催した第6回雫石町立小・中学校校長会議において、12月以降の生徒指導についての指示連絡事項を伝えているとのことでした。特に「SNSの利用の仕方、接続による危険性を保護者に伝え、家庭内で子どもと話し合う機会を設けるように面談等で呼びかけたこと、インターネットで悪ふざけの誹謗中傷をしないこと」などが今の時代では重要であると会議で申し送りされたとのことでした。

広報広聴常任委員会

[古館謙護委員長]

議会だより

新委員会メンバーで編集した第119号

前号でも紹介しましたが、常任委員会の改選があり新委員会メンバーで第119号の編集を行いました。新委員長の下、より良い紙面づくりを心掛けていきます。



特集も今回で4号目になります

○令和3年10月8日

議会だより第119号初校編集会議を開催しました。

○令和3年10月15日

議会だより第119号再校編集会議を開催しました。

○令和3年10月21日

議会だより第119号念校編集会議を開催しました。

○令和3年10月28日

議会だより第119号発行。

○令和3年11月12日

議会だより第120号の編集日程や委員会の動き等について協議しました。

○令和3年12月2日

町村議会広報担当者研修会が、岩手県自治会館（盛岡市）で開催されました。委員会から2名が参加し「議会だより No.119」の紙面などについて、講師から以下のアドバイスをいただきました。

- ・左とじヨコ組みフォーマットから、右とじタテ組みの基本フォーマットへの大転換。表紙のグレードアップも図られ、タテ題字デザインがめずらしい。
- ・「Voice 皆さんの声を聞きました」、「ふるさとへの便り」、「今月の表紙」などの住民登場が多彩。

などです。今後も、より読みやすい紙面を目指し研鑽を続けていきたいと思ひます。

○令和3年12月3日

令和3年度町民と議会との懇談会や議会だより第120号の割り付け及び閉会中の継続調査について協議しました。

議会運営委員会

[杉澤敏明委員長]

協議
1

議会の信頼回復に向けた協議

昨年3月17日の会食事案をめぐり、経過の事実確認、信頼回復に向けた議会議員政治倫理条例の制定や議員研修実施等のモラルアップ、そして町民の皆様への謝罪について協議し、謝罪文を10月28日発行の「議会だより119号」に掲載しました。

協議
2

雫石町議会議員政治倫理条例の検討

「雫石町議会議員政治倫理条例」の制定に向け、県内や全国の市町の条例を参考に協議を重ね、政治倫理条例（案）をまとめました。議員全員協議会で全員の賛成を得て、12月13日開催の定例会で議員発議案として上程し可決されました。この政治倫理条例は、議員が町民の信託を受けた町民の代表であることを認識し、政治倫理を遵守することを定めたものです。



こんの たろう
今野 太郎さん (13歳・林崎)

雫石の人柄は宝

雫石はとっても良い所です。その中でも特に雫石町は、人柄が良いと思います。登下校中は、あいさつをすれば、どの年齢を問わず全員から返ってきます。中学校でもすぐ、友達ができたり、気軽に話せます。雫石中学校に入るみなさん、ぜひあたり前のことはあたり前にやって、楽しい気持ちで、入学してきてください!!!!



かやはし あきお
茅橋 昭男さん (77歳・八区)

散歩中に見える山々

定年後に出身地である八区行政区に定住して15年。好きなことのひとつが、遠くに見える山々を望みながらの散策です。

見える山は、東方に姫神山・早池峰山、西方に秋田駒ヶ岳・高倉山、南方に南昌山・男助山、北方に岩手山・鞍掛山・三ツ石山等々です。特に、八区地内からスキー場及び岩手山方面のパノラマは最高です。



皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。

今回は「しずくいしの宝物は？」です。



くまがい かずえ
熊谷 和恵さん (42歳・駅前)

子どもたちと自然にふれあえるところ

子どもたちと一緒に春は桜を見におさんぽ、夏は車で少し出かけて川で水遊び。秋はドングリ拾い、冬は雪遊び。そして外を見れば大きくキレイは岩手山。のびのびと子育てができて、とても気持ちが穏やかになります。

子どもたちと四季折々の自然にふれあえるところが雫石の宝物なんだと感じています。



もりあい ねね
森合 音寧さん (10歳・小松)

私のフルーツ

私の宝物は「フルーツ」です。理由はキラキラしているし、きれいな音が出るからです。雫石町にはフルーツの先生がいます。また野菊ホールがあって、そこで演奏すると、とても気持ち良いです。

雫石町には良いところがたくさんあるので、皆さんも探してみてください。



雫石町観光ポスター前で

ふるさとへの便り—86

在京雫石町友会会員

うらかみ
浦上

えみ
恵美さん

昨年10月、コロナ禍の中「来るな」と言われる中を押して雫石に帰省した。(ワクチン2回接種済)盛岡でレンタカーを借り、小中高を共にした旧友2人と待ち合わせ3人で故郷入りしたが、町は静まり返り人影もなく驚いた。変わらずに迎えてくれたのは雄々しいまでに美しい「岩手山、厳然として存在し世の移ろいに怯むことなく聳えていた。私は雫石高校第3回卒業生ですが、雫石に県立高校が在ること自体を誇らしく思って来ました。雫石小学校の西側の片隅に戦時中の「青年学校、があり、二階建ての古い建物で、それが盛岡一高雫石分校の発祥地です。当時は高校に行けるなど夢の様な事態に向学心に燃えたぎる農家の若者達で雫石高校は沸き立ちました。当時は停電が多く夜間部はローソクを灯して学びました。夜間部、昼間部の他に農閑期だけの家庭科があり10月から3月までの半年間、農家の女性にも学ぶ機会が与えられ、私はその家庭科に入り翌年3月に普通科2年に編入しました。みんな昼間は農業、役場、農協、郵便局、個人商店に勤めていましたが、遠くから自転車もバスもなくジャリ道を歩いて通いました。私達の先輩には夜間部で学び、鳥取大学の教育学部長になられた笹田さんは健在です。夜間部を卒業し後に起業し成功された藤本さんも健在です。

私は弁論部に憧れて入部し、男女同権が呼ばれた折でもあり、封建的な農村社会に生きる女性の地位向上を目指し、県外にまでも出かけて訴えていた。「NHKの青年の主張」では県代表になり、「全国青年弁論大会」では全国優勝し日本一になりました。雫石高校の文化祭では校庭に高い櫓が組まれ袴に赤のタスキ、足駄をはいて、夜空に高く大太古が打ち鳴らされ、燃え盛るかがり火の中での開催。余興等で多くの人が集まり町の風物詩でした。聞くところに寄ると70周年を迎えた今日、母校は廃校の危機にあるという。在校生が3学年合わせても70人程で部活動も儘ならない状況であるとか。(参考までに雫石中学校は現在150名程でこの春は100名程が卒業生予定なそうです)行政に於いても大変努力されておられるようで、制服無料、授業料、通学費、海外研修旅行等の援助が考慮されていると聞きました。普通高校でなく特殊性を生かした高校や、寮制にして卒業生が町に定着し活性化につながる葛巻方式等を参考にして、何とか存続のため、こぞって知恵を集結して生き残りを考えて欲しいと切望します。存続のためなら卒業生として協力を惜しみません。

『こよなく愛しいふる里、「雫石よ甦れ、「岩手山が見ている、「頑張れ、』

雫石小学校—安庭小学校—雫石中学校—盛岡一高雫石分校—雫石営林署—(館山市に移住)—司法書士事務所経営—懐石料理「吉亭」(女将)。
書道：書星会審査員、読売書道展評議員他。館山市ボランティア協議会会長。他

雫石町へようこそ

＼ ご縁があり、雫石町民になった ／

やました とみひろ
山下 富宏さん (37歳) | 元御所 | ※愛媛県宇和島市出身

Q お二人の馴れ初めは？

A 共通の友人を通じて知り合いました。

Q 雫石町に暮らしてみて、いかがですか？

A 自然が豊かで食べ物おいしいです。盛岡に近く、雫石駅は新幹線も停車するため遠出も便利です。18歳までの医療費助成や給食費の助成が子育て世代にとってありがたいです。

Q 町に望むことは？

A 町内に保育園はあるが、希望しても保育の必要性がないと入園できないところ。学齢未満の子どもの受入先がないため町外の幼稚園へ通っています。近場の施設に入れず、遠方に通わせなければいけない不満を解消してほしいです。雫石町がさらに子育てしやすい町となり、それが呼び水となって、もっと活力のある町になればいいと思います。



自宅のリビングにて
後列右が妻の綾さん (旧姓：瀬川・38歳)
前列右：結希さん(7歳)、侑悟さん(5歳)、心桜さん(2歳)

なかよしシリーズ⑮

今月の
表紙

写真左から
鼓太郎さん(14歳)・風歌さん(12歳)・
凜太郎さん(9歳)・奏太郎さん(7歳)・
蓮太郎さん(3歳)・太郎(犬)



はがたいち はぎの
芳賀太一さん、萩乃さん(極楽野)夫婦のなかよし5人きょうだいです。

将来の夢は何ですか？

長男 鼓太郎さん：考古学者
長女 風歌さん：スタイリスト
二男 凜太郎さん：天文学者
三男 奏太郎さん：剣道8段
四男 蓮太郎さん；こまちの運転手

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】 【議長交際費内訳(10月～12月)】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

月	葬祭費		お祝い、会費	
	件数	金額	件数	金額
10月	0件	0円	0件	0円
11月	2件	44,000円	1件	5,000円
12月	0件	0円	2件	15,000円
合計	2件	44,000円	3件	20,000円

※議会の動きはHPに掲載しています。

■編集デスク

町民の皆さま方におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。令和4年も新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大が心配されますが、接種対象となる12歳以上の方の約90%の方が2回目の接種を終えており、3回目接種も対象となる方に順次案内が送られています。ここが頑張りどころだと思います。基本的な感染対策を継続していただきますよう、よろしく願い申し上げます。

(広報広聴常任副委員長 坂井尚樹)

発行責任者(議長)／加藤真純
編集委員長／古舘謙護
副委員長／坂井尚樹
編集委員／横手寿明・幅 秀哉
岡本忠美・徳田幸男
金子一男